

伐採など、極めて重労働の連続でありました。

長い人生の間には、幸福ばかりはありません。妹が十七歳の春急性肺炎でなくなり、私の子供三人の皮、長男は生後百日足らずで亡くなり、次女は体格もよく至極健康体でありました。が、中学二年生の八月二十六日の晩、急に大熱を發し、医師の手当も看護も懸命に尽しました。が甲斐なく、一昼夜のうちで亡くなりました。

それから苦しい毎日がつづきました。その時は祖母や両親はすべりなく、親バカと云われるかも知れませんが、娘夫婦が、「亡くなった妹は可愛そうでならないが、いくら嘆いても仕方がない。お父さんやお母さんは、たとえ何もしなくても養い、後と見るものがあるから、よいではないか」と慰めてくれたのが心の支えとなりました。

私たちは、世の中には苦しい立場にある方々の多いことと悟ることができ、益々仏教に接し、先祖供養のため、毎朝夕仏前にて、読経、感謝の念を捧げておりました。

八年前、妹の五十回忌、娘の十七回忌が同時に来たので、二人の写真を抱き、先祖供養のため、私は西国三十三番巡拝の旅も致しました。

最近私は、病気で休むようなことばかりなく、家業の手伝いに努めており、一昨年春日孫息子に嫁をもらい、ひ孫(男子)もできて、三夫婦揃って一家睦まじく暮らしております。

「思いごとが叶わねば、先祖供養をせよ。」ということがありすが、坊さんからお経をあげてもらうのは至極結構ですが、先ずそれより自家内満が、亡くなった方への一番供養になることと思ひます。

申すもまことに恐縮ですが、お互い近隣と助け合い、仲よく暮らすことが最大の幸福であり、ひいては明多い社会づくりに貢献することになることと思ひます。私も

昨年果から「明るい高年賞」をいただいた。友よました。これは、私の体験記であります。自分勝手な事ばかり書き、誠に恐縮に存じます。(おわり)

調査記録

血 盆 経 塔

一佐伯地方に珍らしい三例――

会員 五十川 千代 見

血盆経塔は経塚の一種で、普通「大衆妙法一字一石塔」が多い当地方で、今のところ三ヶ所しか発見されていません。今後これを契機に、幾らか見つかるものと思われます。皆さんからもご協力いただけたら幸いです。

血盆経とはいったいどんなお経でしょうか。辞典には次のように出ています。

血盆経 (昔喬巖次大業和译依りよ) 一各 女人血盆経

地藏本願経の飲血地獄をもとにして、中国で目連正經血盆経を作り、我が国古代の禪僧が、又これを擬作して女人血盆経と名づけ、曹洞宗の徹戒会などに於て、之を女口と云えた。

これだけでは血盆経の内容はわかりかねますし、またこの経文を一字一石塔に用いた趣旨もわかりません。とにかく血盆経の経文によって供養塔が営まれていることは、珍らしい事実ではないでしょうか。

佐伯地方(佐伯市・南海部郡)外にもまだあるのかと思われます。発見されましたらお知らせ下さい。

(その一)

本匠村大字三股字阿勢津・葉師堂境内

形式 八角塔型 台石二段
石質 凝灰石
総高 二一〇センチ



(石塔正面)
血盆經一石一字塔
(向つて右側面)

明治三十年西五月

豊前国宇佐郡城村光鏡寺徒第

願主 大法禪□首座 謹立之

(その二)

本匠村大字宇津々字長野分(高橋惣客店裏山)

形式 角塔型
石質 凝灰石
総高 一一四センチ



(石塔正面)

血盆經

一字一石之塔

(向つて左側面)

文化十五歲寅孟春日

(外文字なし)

(その三)

宇目野大字千束字豊藤・阿弥陀堂境内

形式 塔婆型(突起付)
石質 凝灰石
総高 一〇二センチ



(石塔正面)

血盆塔

(外、文字なく造立年月等不明)

(以上)

(編集者付記)

血盆塔はやはり供養塔でしょうか、それとも願望の塔でしょうか。血盆經とは、どんなお経でしょうか。また、外にもおればせんでしょうか。編集者死または五十四氏にて教示下さい。(南海部郡弥生町提内(ニハヤブー))

文化殿より

弥生町の小倉磨崖塔に鉄の鎖を

写真をとるのに、磨崖塔の前の頑丈な鉄柵が邪魔になって困っていましたが、今回弥生町は柵をとりのけて、かけ外し自由な鉄の鎖に改造しました。体裁もよし、何よりです。

文化財保護には呼びかけが何より、鉄柵も有刺鉄線はまずい。しかしくさりは外しても、後から必ずかけましよう。